

修正予算案 否決



令和2年度一般会計補正予算第5号の義務教育学校建設に係る経費（碓井・稲築・稲築東の3中学校校区の義務教育学校建設経費）に対して、全額減額を求める修正予算案が議員より提出されました。委員会の採決の結果は、賛成少数で否決となりました。

減額修正案が提出された主な理由

これまで小中学校は、耐震関係工事等で約12億円をかけ整備されてきた。今回、碓井・稲築・稲築東の中学校区に小中一体型校を整備すれば、山田・嘉穂との間に教育格差が生じる。碓井中学校は、建設年度が山田中学校と同年であり、児童生徒数も減少していることから整備する必要がなく、稲築・稲築東中学校も、児童生徒数が減少することから、1つの学校として整備しても問題ない。また、整備する場合、発注方法の経費削減等の理由から分離発注方式を取るべきである。さらに、新型コロナウイルスの影響により地方税等の一般財源が激減することが予想されるため、巨額の財源不足が生じる見込みである。

これらの理由により、学校施設整備事業について再検討すべきである。

～本会議では、下記の討論がなされました～

減額に賛成の主な理由

- 義務教育学校建設に係る経費は、令和6年度まで5年間継続され、新たに3校建設すると総額約142億円かかる。経常収支比率も悪化し続けているため将来の住民サービスに影響する。
- 新型コロナの影響等もあるため財政面が不安だ。
- 総額約142億円の内99億円は、目途が立っていない予算であるため見切り発車だ。

減額に反対の主な理由

- 学校は、市のまちづくりにとっても不可欠であり、子どもたちの安心安全を第一に考えたものであるため必要な経費だ。
- 若者定住促進を図る上でも、学校は地域にとって大切な資源である。
- 多額の資金が必要となり財政面が不安ではあるが、将来を担う子どもたちへの投資として必要だ。

